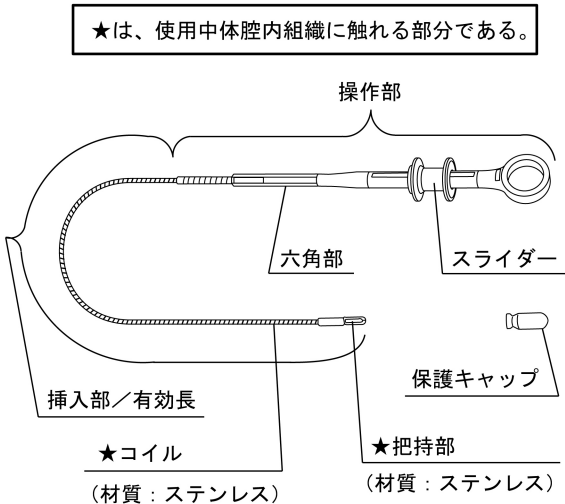


回転把持鉗子

【形状・構造及び原理等】

構造・構成ユニット

- 1.構成
本製品は操作部、挿入部、把持部から構成されている。以下の機種がある。
- ・FG-44NR-1
- 2.各部の名称



**3.仕様

モデル名	FG-44NR-1
把持部の形状	V 字罅口型
最大外径 (mm)	Φ2.6
有効長 (mm)	1800
開き幅 (mm)	6.9

詳細は『取扱説明書』の「3 仕様」を参照のこと。

作動・動作原理

スライダーを先端側へ動かすと先端の把持部が開き、手元側に動かすと先端の把持部が閉じる。目的のドレナージチューブまたはその他の異物を開いた把持部に捕さくすることにより把持し、回収する。六角部を把持して、挿入部を右に回すと把持部が右に回転する。

【使用目的又は効果】

使用目的

本製品は、当社の内視鏡と組み合わせて消化器内のドレナージチューブまたはその他の異物を回収することを目的としている。

【使用方法等】

- 1.点検
(1)初回の使用前に【保守・点検に係る事項】に従って洗浄、滅菌する。
(2)滅菌パックの点検、本製品の外観の点検、作動の点検をする。
- 2.内視鏡（GF、GTF、JF、TJF 系以外の場合）への挿入
(1)スライダーを引き、把持部を閉じる。
(2)内視鏡の鉗子栓に把持部を閉じた状態で、挿入部先端が内視鏡の視野内に入るまで挿入する。
- 3.内視鏡（GF、GTF、JF、TJF 系の場合）への挿入
(1)内視鏡の鉗子台を最大 UP にする。
(2)スライダーを引き、把持部を閉じる。
(3)内視鏡の鉗子栓に把持部を閉じた状態で挿入する。
(4)本製品の挿入部先端が内視鏡の鉗子台に突き当たったことを確認し、鉗子台を DOWN にする。
(5)本製品の挿入部をさらに 20mm 程度挿入し、内視鏡の鉗子台を UP にする。
- 4.ドレナージチューブまたはその他の異物の把持
(1)目的のドレナージチューブまたはその他の異物を把持するため、内視鏡のアングルを操作し、本製品を必要な長さまで挿入する。
(2)スライダーを押し把持部を開く。
(3)操作部の六角部を把持し挿入部を右に回し、ドレナージチューブまたはその他の異物を把持しやすい把持部の向きにし、捕さくする。
(4)スライダーを引き、目的のドレナージチューブまたはその他の異物を把持する。
- 5.ドレナージチューブまたはその他の異物の回収
(1)鉗子台のある内視鏡では鉗子台を DOWN にする。
(2)ドレナージチューブやその他の異物を把持したまま、本製品を内視鏡ごと体外へ引き抜く。
(3)スライダーを押し把持部を開く。
(4)把持したドレナージチューブまたはその他の異物を把持部からはずし回収する。
- 6.内視鏡からの引き抜き
スライダーを引き把持部を閉じた状態で、内視鏡から本製品を引き抜く。
- 7.使用後の手入れ
本製品の使用後は、【保守・点検に係る事項】に従って洗浄、滅菌する。
- 8.保管
本製品を保管する際には、【保管方法及び有効期間等】に従って保管する。

**組み合わせて使用する医療機器

本製品と組み合わせて使用可能な医療機器は以下である。

当社 内視鏡	有効長 チャンネル径	1350mm 以下 Φ2.8mm 以上
-----------	---------------	------------------------

使用方法等に関連する使用上の注意

無理な力で異物や組織を把持すると、把持部が破損し把持部が体腔内に脱落するおそれがある。使用中は常に内視鏡画像を確認し、把持部に異常がないことを確認すること。

詳細は『取扱説明書』の「4 使用方法」、「5 手入れ方法」、「6 保管」を参照のこと。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

一般的事項

- (1)本製品は出荷時には滅菌していない。初回の使用前に、【保守・点検に係る事項】指示に従って洗浄、滅菌すること。
- (2)内視鏡の視野が確保されていない状態で、本製品を内視鏡に挿入しないこと。また、内視鏡の視野あるいは内視鏡の視野内に挿入部先端が確認できていない状態で、本製品の連動の操作を行わないこと。
- (3)本製品を内視鏡に挿入する際は、スライダを動かないように保持し、急激な突き出しはしないこと。
- (4)抵抗が大きくて内視鏡への挿入が困難な場合は、無理なく挿入できるところまで内視鏡の角度や鉗子台を戻すこと。
- (5)挿入部先端を内視鏡から突き出している状態で、急激な内視鏡の角度や鉗子台の操作をしないこと。
- (6)無理な力で挿入部先端を体腔内の組織に押し付けないこと。
- (7)本製品を内視鏡から勢いよく引き抜かないこと。
- (8)本製品を滅菌バックに入れる前に、必ず把持部を閉じること。

不具合

その他の不具合

機器の破損、脱落、機能の低下

有害事象

その他の有害事象

感染、組織の損傷、穿孔、大出血、粘膜損傷、皮膚の炎症

詳細は『取扱説明書』の「4 使用方法」、「5 手入れ方法」、「6 保管」を参照のこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

使用後は本添付文書の【保守・点検に係る事項】の「洗浄、滅菌」に従い、洗浄、滅菌を行い、保管をすること。

耐用期間

- 1.本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）1年である。
（自己認証（当社データ）による）
- 2.本製品は消耗品（修理不可能）である。『取扱説明書』に従って点検を実施し、異常があれば新品と交換すること。

詳細は『取扱説明書』の「6 保管」を参照のこと。

【保守・点検に係る事項】

洗浄、滅菌

- 1.毎症例後必ず洗浄、滅菌を行うこと。なお、手順及び条件は、『取扱説明書』「第4章 使用後の手入れ」の記載に従うこと。
- 2.『取扱説明書』に記載の、洗浄、滅菌に使用できる薬剤を使用すること。それ以外の薬剤については、オリンパスに問い合わせること。
- 3.長時間放置すると、本製品の表面に付着した汚物が乾燥して固まり、除去しにくくなるため、使用後は直ちに洗浄すること。
- 4.浸漬用の洗浄液、超音波洗浄用の洗浄液、潤滑剤、洗浄液浸漬用容器、超音波洗浄器、潤滑剤浸漬用容器、滅菌バック、オートクレーブ装置を用意する。
- 5.購入後初回の手入れ時は、把持部から保護キャップをはずして廃棄する。
- 6.浸漬用洗浄液の『取扱説明書』にて指示された時間に従って浸漬する。
- 7.超音波洗浄器に入れた洗浄液に浸漬し、30分間超音波洗浄する。
- 8.水道水ですすぎ、外表面の水をふき取る。
- 9.潤滑剤に2～3秒浸漬し、外表面の潤滑剤をふき取る。
- 10.滅菌バックに封入し、オートクレーブ装置にかける。
- 11.本添付文書および本製品の『取扱説明書』に記載している洗浄、滅菌方法では、クロイツフェルト・ヤコブ病の病因物質と言われているプリオンを消失または不活化することはできない。クロイツフェルト・ヤコブ病または変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者に本製品を使用する場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病または変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者専用の機器として使用するか、使用後に適切な方法で廃棄すること。クロイツフェルト・ヤコブ病への対応方法は、種々のガイドラインに従うこと。なお、本製品は、種々のガイドラインで示されている、プリオンを消失または不活化する方法に対する耐久性がまったくない、あるいは、十分な耐久性がない。各方法に対する耐久性は、オリンパスに問い合わせること。

使用者による保守点検事項

使用前に『取扱説明書』に従って点検すること。点検結果により必要であれば新品と交換すること。

詳細は『取扱説明書』の「5 手入れ方法」を参照のこと。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

取扱説明書を必ずご参照ください。